

## 2016年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	縄田 雄二		
NAME	Yuji Nawata		

## 1. 研究課題

（和文）ユーラシア比較文化

（英文）Eurasian Comparative Culture

## 2. 研究期間

2年間

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

文化学（Kulturwissenschaft）の諸理論（メディア史、文化的記憶論、学問史、図像論など）は20世紀末以来ドイツの人文科学を刷新した。惜しむべきは、これがヨーロッパの文化史に適用されることのみ多く、他地域の文化史への応用が少ないことである。歴史学においては、各国史の結合としての世界史を超え、世界の歴史をはじめから地球規模で分析記述する **global history** が近年発展した。**global history** の一部門として文化史もあるが、そこにドイツの文化学を組み込むことは稀である。本研究においては、文化学諸理論と **global history** を結合させることを目指し、ユーラシアの比較文化を行うことを計画した。

ヨーロッパの文化史と東アジアの文化史が、対立項などではなく、グローバルな枠組みのなかにおいて関連しあう二者であることを証し得たと信ずる。本研究は私が研究代表者を務める科研基盤研究（C）「グローバル文化史から見たドイツ文学・ドイツ思想—現代ドイツの文化学を応用しつつ」（研究課題番号 25370372）と相補うが、ユーラシア比較文化を核としてグローバル文化史の輪郭も描いた。

示し得たグローバル文化史の構想を、歴史上の例でさらに具体化してゆく課題も浮かび上がった。この課題には、私が代表者を務める共同研究、第28回中央大学学術シンポジウム「グローバル文化史の試み」（2018-20年度）で取り組みたい。

（英文）

In this study, I have attempted to conduct a comparative Eurasian culture analysis, combining the theories of German Kulturwissenschaft (culture study) with the historical discipline of “global history”. Examples from Europe and East Asia were compared. Based on this research, I have outlined a global cultural history.